

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

【為替】

ブラジルの1月IGP-Mインフレ率(第2回目プレビュー)が市場予想比上昇したことを受け、早期利上げ観測が拡大し一時5.24レアル台までレアル高が進行。しかし、茲許の新型コロナウイルス感染再拡大に伴い、経済省内では政府が非正規労働者向け財政援助が避けられないとの意見が出ていると報じられ、財政の先行き懸念が拡大。更に、次期米国財務長官に指名されたイエレン氏(前FRB議長)が財務長官指名承認公聴会にて「バイデン次期大統領が掲げる1兆9,000億ドル規模の経済対策は必須の支援措置」と訴えたものの、上院財政委員会のグラスリー委員長(共和党)より「昨年12月に9,000億ドル規模の経済対策が承認されたばかりであり、今はリベラルな経済対策を実行していく時ではない」とコメントしたことで、バイデン次期政権の政策遂行に不確実性が高まったと嫌気され、5.35レアル台までレアル安が進行した。

【株式】

17日よりブラジルで新型コロナウイルスワクチン接種が開始された一方、同ウイルス感染再拡大を受けたブラジル政府の上記財政援助に関する報道を受け、短期的な緊急支援プログラム延長の可能性が高まり、財政支出増加と歳出上限遵守が難しいとの懸念が拡大し、ボベスパ指数は一時119,000ポイント台まで下落。その後は、原油先物価格が上昇したことにより下支えされ、120,000ポイント台半ばまで戻して取引を終えた。

【その他】

・ブラジル1月IGP-Mインフレ率(第2回目プレビュー): +2.37%(市場予想: +1.75%、前回: +1.18%)

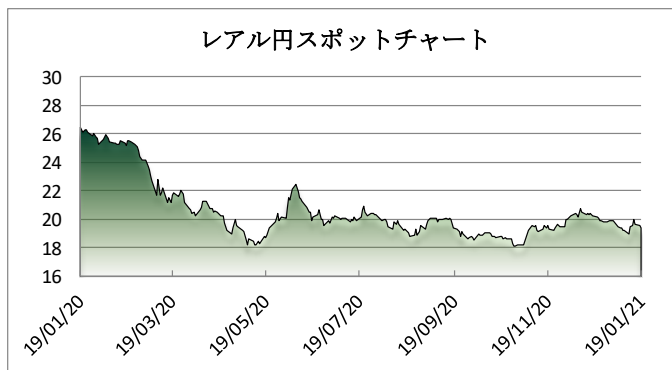
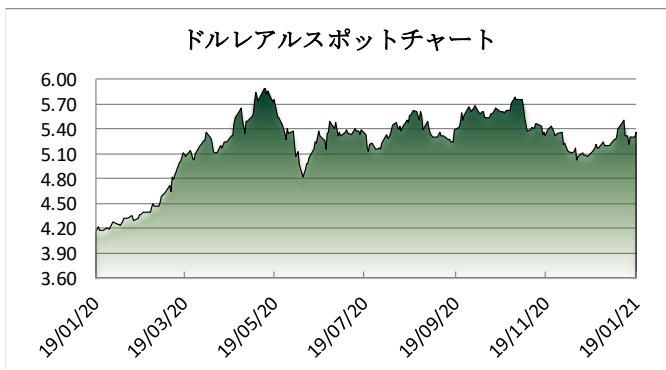
【COVID-19 感染者総数(1/19時点)】

ブラジル全体: 8,573,864人(前日比+62,094人)、サンパウロ州: 1,644,225人(前日比+15,953人)

マーケットデータ

Indicator		Unit	1月18日	1月19日			(年初来) 高値	(年初来) 安値
					前日比	1ヶ月前比		
レアル	対ドル	BRL	5.2974	5.3518	-1.03%	-5.25%	5.1210	5.5160
	対円	JPY	19.58	19.41	0.85%	4.15%	20.09	18.90
	対ユーロ	BRL	6.3975	6.4925	-1.48%	-4.28%	6.2961	6.7066
円	対ドル	JPY	103.69	103.90	-0.20%	-0.58%	102.59	104.40
	対ユーロ	JPY	125.24	126.02	-0.62%	0.47%	125.09	127.49
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	121,242	120,636	-0.50%	2.21%	125,324	116,756
CDS Brazil 5yrs		bps	169.65	169.70	-0.03%	-13.94%	170.07	141.37
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7.46	7.53	0.98%	4.60%	7.66	6.87
DI Future Jan22 (金利先物)		%	3.260	3.240	-0.61%	9.09%	3.35	2.82
3 Months US Dollar Libor		%	0.22400	0.22363	-0.17%	-5.14%	0.2413	0.2234
CRB Index (国際商品指数)		Index	175.25	174.85	-0.23%	5.04%	176.84	166.34

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。